



平成 30 年 7 月 12 日

各 位

会 社 名 フェスタリアホールディングス株式会社
 代 表 名 代表取締役社長 貞松 隆 弥
 (J A S D A Q ・ コード 2 7 3 6)
 問い合わせ先 取 締 役 磯 野 紘 一
 電 話 番 号 0 3 - 5 7 6 8 - 9 9 6 9

平成 30 年 8 月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 10 月 13 日に公表した平成 30 年 8 月期（平成 29 年 9 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日）における通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正等について

(1)平成 30 年 8 月期通期連結業績予想の修正（平成 29 年 9 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当り 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000	320	260	100	87.10
今回修正予想(B)	9,800	100	70	40	34.46
増減額 (B-A)	△200	△220	△190	△60	
増減率(%)	△2.0	△68.7	△73.0	△60.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 8 月期)	9,578	311	316	169	150.94

(注)当社は平成 30 年 3 月 1 日付で普通株式 10 株を 1 株に併合しております。前期の 1 株当たり当期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定して金額を算定しております。

2. 修正の理由

当第 3 四半期累計期間の実績及び第 4 四半期の業績見込みを勘案し、平成 30 年 8 月期の通期連結業績予想を修正いたします。

売上高は有力商業施設への新規出店や売場面積の拡大に加え、“Wish upon a star”を中心としたブランド売上高が伸長したこと等により前期比では増収を確保する見込みであるものの、EC 事業やホールセール事業など新規チャネルの売上高が当初計画に対して低調に推移しているため、前回予想を下回る見込みとなりました。

利益面につきましては、上記のとおり売上高の下振れにより、当初計画に対して売上総利益が未達となる見込みです。加えて、新基幹システムの運用延期に伴うシステム構築への追加投資や本稼働に向けた外部サポート費用の負担増等が影響し、販売費及び一般管理費の増加が見込まれることから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに予想を下回る見込みとなりました。

(注 1) 平成 29 年 8 月に導入した新基幹システムは、平成 30 年 6 月 1 日より本稼働を開始しております。

(注 2) 業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

以上